



第5回

中の島公園 魅力向上 ワークショップ workshop news letter

目指すべき姿の素案を描こう！

意見交換の一部をご紹介します！

第一回から出ていた防災の観点を具体的に追加してほしいです！

中の島公園は広域避難地として、防災面の役割もありますので、反映していきます！

公園整備がすべて終わるのは3年後ですか？

来年度にベースアップの設計を行い、R6年にベースアップ工事、その後、R7年から事業者による工事を想定しています！

住民の生の声を聴いてもらえるワークショップはとてもいいステップだったと思います！スポーツ部局にも、もっと参加してほしいです。今後もハードとソフトの両方で進めていきたいです！

スポーツ部局とは、密に協議して、みなさんの意見を伝えています！今後もハード整備だけでなく、メーリングリスト等を活かした意見交換や、説明会等できたらと思います！

樹木は在来種に配慮した植栽してほしいです！

来年度の設計で詳細に検討していきます！

川辺を管理する大阪府や阪急電鉄の復旧工事との協議調整結果も教えてください！

協議はこれからですが、その結果などをお伝えする場を設けたいと思います！

事業者が入ることで、今まで花壇管理や草刈りなどの仕事をしてきた障がい者の方々の仕事がなくならないか心配です。

事業者が入っても、市がコントロールする立場は変わらないので、障がい者の雇用や拠点などについても市が考えていきます！

中の島公園は本当に民営化が良いのか？地域住民を第一に考えてもらいたいです！

官民連携で市が主導で、地域のために何ができるのかを第一に考え進めていきます！

市と事業者等が少しずつ整備すると一体感のある整備が難しいのではないのでしょうか？西の下水処理場等も含んだ一体的計画はできませんか？

目指すべき姿等を基に、市が主体で整備計画を行うため、一体感のある公園にできると考えています！周辺とのつながりも気運をつくっていきたいです！

全5回のワークショップを終えて

全5回の中の島公園魅力向上ワークショップ、社会実験も含めて7月から11月までの長期間におきまして、多数の方にご参加いただき本当にありがとうございました。



このワークショップでは、令和3年度に行ったニーズ調査では把握しきれなかった市民のみなさまの生の声を聞くことができ、市として新しい気付きや課題が明らかになりました。

ワークショップは今回で終了しましたが、今後の社会実験やメーリングリストでの連絡など、みなさまとの交流は続いていくと考えていますので、これからの取り組みに対しても、お付き合いのほどよろしくお願いたします！

<実験イベントのご案内>

ワークショップと実験を通して見えてきた「みんなの力で実現していきたいこと」や、「市がみなさんと引き続き実現の可能性を探ってきたいこと」について検討し、魅力向上を推進するため、来年のお花見シーズンに公園内で実験イベントを開催しようと思います。

正式に開催日が決まりましたら市HPや現地掲示等でお知らせしますので、ぜひご参加ください！

やってみよう！お花見公園実験！



- 第1回 みんなの公園を考えよう！
7月16日(土) 会場：吹田市立内本町コミュニティセンター
- 第2回 公園でやってみたい！を考えよう！
8月20日(土) 会場：吹田市立内本町コミュニティセンター
- 第3回 やってみたい！の実験準備！
9月17日(土) 会場：メイシアター(吹田市文化会館)
- 公園で実際にみんなで実験します
会場：中の島公園内
- 第4回 公園のイメージをふくらませよう！
10月29日(土) 会場：吹田市立内本町コミュニティセンター
- 第5回 目指すべき姿の素案を描こう！
11月19日(土) 会場：吹田市立内本町コミュニティセンター



<中の島公園魅力向上事業について>

吹田市では、管理する主要な都市公園について、公園利用者である市民の方々から想いや意見を伺いつつ、民間事業者の資金やノウハウを活用することにより、より効果的・効率的な再整備と地域の実情に応じたきめ細かな管理運営等を行うことで、公園のさらなる魅力向上を図る取組を進めています。

そこで、中の島公園魅力向上事業では、令和4年7月から11月にかけて、全5回のワークショップと公園での実験を行いました。このワークショップと実験を通して、公園利用者の方々から想いや意見を出し合ってもらい、公園を管理する行政とともに裏面に示す「中の島公園の目指すべき姿(素案)」を導きました。

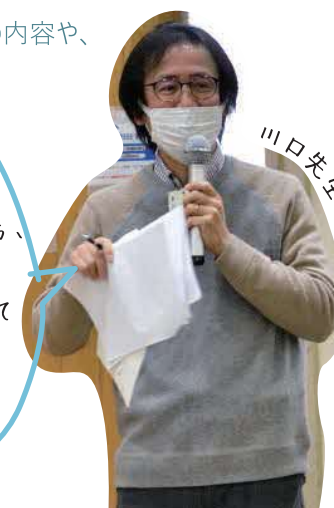
※「目指すべき姿(素案)」は具体的な施設内容等を描くものではなく、理念や目標像を示すものです。

<第5回ワークショップについて>

これまでの4回のワークショップと中の島公園での実験の結果を踏まえ作成した「目指すべき姿の実現に向けて」と「中の島公園の目指すべき姿(素案)」を参加者のみなさんに説明させて頂き、目指すべき姿(素案)の内容や、これからの関わり方等について意見交換を行いました！



様々な考え方や立場で意見交換ができたことはとても良かったと思います。これからは実際に実験しながら、不易流行の考えをもって、市民参加の公園づくりを続けてもらいたいと思います！私も学生達と一緒に関わっていきたく思っています！



川口先生

参加者：22名(+お子さん4名) 会場：吹田市立内本町コミュニティセンター

発行：吹田市土木部公園みどり室

問い合わせ窓口：古川・高根 TEL：06-6834-5364 FAX：06-6834-5486 〆：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

サポート：株式会社 現代ランドスケープ アドバイザー：大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 川口将武准教授

概要と課題

中の島公園は、阪急千里線吹田駅・下新庄駅に程近い神崎川沿いに位置する吹田市南部地域の中核となる緑豊かな地区公園です。周辺には主に低層住宅地が広がり、吹田発祥の地である内本町・南高浜町にも近く、歴史性を有する居住地域となっています。かつて夏場の人気スポットであった市民プールが老朽化によりH28年に閉鎖され、ナイター設備を有するテニスコートや多目的グラウンドに置き換わり、公園中央の野球グラウンドと共に、市外を含めた盛んな市民のスポーツ活動を支えています。

また、広場での地域の子どもの遊びや、ラジオ体操・将棋などの地域住民の交流、豊かに育まれたみどりの中での散歩やジョギング、隣接する中学校の部活動など、多様な日常利用の受け皿として親しまれています。

＜公園概要＞

- 種別：地区公園
- 所在地：中の島町6番
- 面積：64,000㎡
- 開設年月日：昭和31年（1956年）
- その他：広域避難地指定



＜課題＞

① 吹田市南部地域における市民交流活動の拠点化

スポーツ利用に加え、広場や遊具での遊びや、ウォーキング、犬の散歩、ラジオ体操など地域の人々の利用が盛んです。一方で、利用者同士で楽しめる機会が少なく、地域交流及びにぎわい・防災活動の拠点としての場づくりや仕組みが必要です。

③ 公園施設の老朽化への対応

開設後60年以上が経過した本公園では、施設の老朽化や、樹木の高密度化に伴う生育不良や見通し不良が進行しています。遊具や休憩施設等の更新をはじめ、樹木の健全な成長と公園として安心できる見通しや開放性の確保、強風等で傷んだ樹木の整理等、密度管理を行う必要があります。

② スポーツ施設と公園利用の融合

中低木や盛土等によって、広場や園路とスポーツ施設との視覚的繋がりが乏しく、公園全体の広がりや一体性向上の改善が必要です。野球場の平日利用の向上や多目的・多目的な利用への対応など運用の見直しが必要です。

④ 緑や川辺の環境資源の保全・活用による魅力向上

豊かに育った川辺の樹林は市域の外にない貴重な都市の自然環境です。一方で、公園と水辺の隔たりや市民ニーズへの対応が不十分で、魅力化には至っていません。近隣市民を中心に、日常的にこの環境に触れ楽しむことができるよう、利用を促すための施設及び空間の再編と運用の仕組みが必要です。

魅力向上に向けた理念

CREATE PARK LIFE

～ 「水辺の森 × スポーツ × 地域交流」 みんなでつくろう 中の島 パークライフ ～

目標像（パークビジョン）

つながりを実感できる暮らしを実現！

- 市民が主体となり幅広く楽しみの活動が展開する、新たな地域の賑わいと交流の拠点を創出します。
- 市民による交流催し等を開催し、市民・行政・事業者の連携を模索し交流活動の効果と継続性を高めます。
- 市民によるニュースポーツの導入など公園利用の多様化を図り、多世代の交流を促します。
- 有事に役立つ、市民の防災コミュニティ形成の受け皿を創出します。

緑豊かでうるおいのある都市生活を実現！

- 水辺の森をまちに開くべく、開放的な空間をつくり、自然と共に過ごす魅力が実感できる場とします。
- メタセコイアや桜並木の保全・再生による水辺の創出、森の憩いやスポーツを親観できる空間の創出など、緑の資源を活かした魅力化を図ります。
- 豊かな自然を最大限に活かし、ニューノーマルな屋外での市民ニーズに対応した公園とします。

個性と活力のある都市づくりを実現！

- 中の島公園の目指すべき姿を地域で共有し、公園から共感と協働の輪を広げ、みんなで作るクリエイティブパークライフの実現を目指します。
- 市民の公園利用を充実させるため、行政と市民と民間事業者とが連携し、利便増進施設の設置、スポーツ施設の設置・改修、広報やプログラム提供などの柔軟な運営管理の強化等を図ります。

魅力向上イメージ

凡例

- a: メインエントランス
- b: もりのひろば
- c: あそびのひろば
- d: いろどりひろば
- e: みずべエントランス
- f: スポーツ施設・管理棟周辺



※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。

ゾーン別運営方針

ゾーン名	方向性	取組イメージ
a:メインエントランス	市民の交流の場となる賑わい広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 明るく開放的なエントランスの顔づくり 市民の交流や防災活動など多目的な活動の受け皿となる場を創出 施設や樹木の整理による安全安心の確保 利便性を向上する駐車場整備
b:もりのひろば	既存の森を最大限に活かした憩い楽しみゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 豊かに育まれた高木の保全と、中低木の整理による明るい森づくり ハンモックなど自由に緑とふれあい楽しめる場の創出 自然を楽しみながら憩える飲食施設等の整備
c:あそびのひろば	多くの子どもたちの遊びの受け皿となる遊び場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 親しまれてきたコンクリート遊具の修繕と、多くの子どもたちの遊びの受け皿となる大型遊具や鉄棒などベーシックな健康遊具の新設 遊び回れる伸びやかな芝生の丘整備 園路の集約や施設整理と、森の活用による遊び場の拡幅・魅力化 夏の水遊びやドッグランなど地域のニーズの受け皿となる広場整備
d:いろどりひろば	桜など彩りの楽しみとスポーツ観覧ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 老木となった花木の更新による彩の再生 中低木の整理等によるスポーツ施設への観覧空間の整備
e:みずべエントランス	水辺の開放感を楽しめ健康活動の拠点となる新たなエントランスゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 水辺やスポーツ観覧を楽しめるマウンド等の整備 水辺やスポーツを楽しみながら憩えるアウトドアスペースの設置 堤防沿いからのユニバーサルなアクセス動線とゆとりある周回園路整備 ウェルビーイングを高める広域周遊ネットワークの拠点施設整備 鉄道や橋、対岸への顔づくりと水辺の景観の魅力化
f:スポーツ施設・管理棟周辺	市民の多様なニーズに対応したスポーツ施設・観覧・管理ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 多様で柔軟なスポーツ施設の運営管理・サービスの向上 キレイなトイレやシャワー室、市民が集まれる屋根下の交流空間整備 中低木の整理や造成等による園路・広場とスポーツ施設の一体化 舗装の不陸や急こう配などバリアーを解消した散策周回園路整備